



平成 27 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 サイバーコム株式会社
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 渡 邊 剛 喜
 (コード番号：3852)
 問合せ先 常務取締役経営管理部長 佐藤 文昭
 (TEL. 045-312-3271)

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である富士ソフト株式会社について、支配株主等に関する事項は、下記のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

名称	属性	議決権所有割合（％）			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
富士ソフト株式会社	親会社	56.87	—	56.87	株式会社東京証券取引所 市場第一部

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係、人的・資本関係

当社は、親会社である富士ソフト株式会社の連結子会社としてその企業グループ（以下「富士ソフトグループ」という）に属しております。富士ソフトグループにおいては、富士ソフト株式会社が総合情報サービス企業としてシステム構築全般に関して事業展開を行うほか、当社を含む関係会社は、主として通信、金融、流通および医療等の各業界に特化した事業展開を行っております。当社は、その中で通信系のソフトウェア開発を中心とした事業展開を行っております。

現在、富士ソフト株式会社からは、従業員 1 名の出向者受入れをしております。

(出向者の受入状況)

(平成 27 年 6 月 1 日現在)

部署名	人数	出向者受入理由
経営管理部	1 名	本社の管理部門強化のため。

- (2) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスクおよびメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本関係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

当社は、通信ソフトウェアを中心とした受託開発を主力として展開しており、事業展開を行ううえで親会社である富士ソフト株式会社から特段の制約および調整を受けている事項はありません。

また、当社は、富士ソフトグループ企業各社との間に、ソフトウェア開発業務の委託または受託取引がありますが、これらはグループ企業各社においてそれぞれ得意とする事業領域に関連する開発業務の受委託取引であり、当社および各社の事業上の必要性に応じ発生しております。各社との取引条件については、市場価格を勘案し、当社との関連を有しない会社との取引と同様に交渉のうえ決定しております。

- (3) 親会社等からの一定の独立性の確保

富士ソフトグループにおいては、「各グループ企業が相互に独立した会社としての尊厳と自主性・主体性を尊重する」旨のグループ会社憲章を定め、各グループ企業が独自の方針等により事業展開をするとともに、グループ企業が各々の特長を活かしたアライアンスを推進していくことにより、グループ全体としての成長を実現していくことをグループ戦略としております。

このような中で、当社は、長年の実績等により培われた技術力にて主に通信ソフトウェアを中心としたソフトウェア開発を行っており、富士ソフトグループの中でも唯一の通信系のソフトウェア開発をメインとした技術的特長を持つ会社として役割を担っております。

このことから、各グループ企業の一部においては事業領域の重複が生じておりますが、各社においてはグループ内の事業展開上の制約および調整事項等はなく、当社は、親会社から一定の独立性が確保されていると認識しております。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当該事項につきましては、平成 27 年 5 月 11 日発表の「平成 27 年 3 月期 決算短信」25 ページ「関連当事者との取引」に記載のとおりであります。

4. 支配株主等との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社では、社外取締役 2 名ならびに社外監査役 2 名を選任し、経営の透明性を確保するとともに、取締役会においては当社独自の経営判断に基づき意思決定を行っており、親会社からの独立性確保を図っております。

親会社との取引条件につきましては、市場価格を勘案し、当社と関連を有しない会社との取引と同様に交渉のうえ決定することとしております。

なお、取締役会において、当社独自の経営判断に基づき意思決定を行うことで親会社からの独立性確保を図っており、少数株主の利益を害することがないように適切に対応しております。

以 上